



令和4年度 学校経営グランドデザイン

広島市立広陽小学校

児童の実態

- 自分で計画を立て勉強(34%)全国比+2.8
- いじめは絶対だめ(88%)全国比+3.9
- 人の役に立つ人間に(76%)全国比+0.6
- 自分にはよいところある(20%)全国比-16.2
- 地域や社会にできることを考える(10%)全国比-7.8
- テレビゲーム2時間超える(30%)全国比-20.5

広陽の子ども

- ねばり強い子ども
- 考える子ども
- たすけあう子ども
- 思いやりのある子ども
- たくましい子ども

学校力「4つの重点」

- 組織力
(指定地域共通の改革)
- 授業改善
(児童主体の授業)
- 人材育成
(実践交流の積み上げ)
- 働き方改革
(目標設定と意識改革)

育成を目指す資質・能力

資質・能力	生きる力	【確かな学力】 ～よく考え～	【豊かな心】 ～心・声・目線～	【健やかな体】 ～よく動く～
生活に生きる 「知識・技能」の習得		学習規律の着実な定着 基礎的・基本的な知識技能 ユニバーサルデザインを意識	基本的な生活習慣 ・あいさつ・返事・やる気 ・根気・揃える	基本的運動技能の習得 ・持久力 ・調整力(反復横跳び)
未知の状況にも対応できる 「思考力・判断力・表現力等」の育成		課題解決への思考 互いの考えを聞き、違いや良さに 気づくことで、自分の考えを深める	自己肯定感の育成 多様な考えの尊重	生活習慣の自己評価 運動の工夫
学びを人生や社会に生かそうとする 「学びに向かう力・人間性等」の涵養		主体的な学習態度 見方・考え方の活用	課題の発見 自己や集団の向上	生活習慣の課題改善 体力向上に挑戦

令和4年度 重点目標【子ども像】

心と声と目線をそろえ、よく考え、よく動く広陽っ子!
～「あいさつ」「ありがとう」「やる気」「根気」～

重点目標達成に向けた経営方針(学校力の捉え方)

学校が一体となって、組織的な力で実現する「教育力」
個々の教員の力に、過度に依存しない「チーム力」

働き方改革の推進

- 時間外在校等時間
- ・1か月で45時間以内
- ・1年間で360時間以内

重点目標の具現化に向けた取組

～よく考え～ 教務・学習・研修・学年	～心・声・目線をそろえ～ 生活・教務・学年	～よく動く～ 保体・教務・学年
1) 基礎基本の確実な定着 ・学習規律の確実な定着 ・朝学習・読書と家庭学習 2) 読む活動と主体的・対話 的で深い学びの授業改善 ・単元計画と評価の一体化 ・見通しと振り返り ・知識・技能の活用と見方・ 考え方 3) 個別最適な学びと協働的 な学び ・Chromebookの効果的な活用	4) 気持ちの良いあいさつ・返事 ・あいさつと返事の習慣化 5) 互いに支え合う学級経営 ・「相互理解」「よりよい生活」等 の育成 ・自己有用感・情報モラル 6) 生命と人権の尊重 ・生命を尊重する心情と態度の 育成 ・いじめは絶対にだめだと考える 児童100%の達成 ・ユニバーサルデザインの視点に 立った学級経営	7) 基本的な運動能力の習得 ・体力の向上を目指し、体育 科授業の運動量の確保、外 遊びや体育館遊びの推奨 ・新体力テストの丁寧な実施 (基準を明確にし共有する) ・体育科授業における「作戦・ 工夫」の位置づけ 8) 望ましい生活習慣 ・食事や睡眠など健康的な生 活習慣の形成 9) 感染症対策の指導 ・主体的に対策に取り組む力の育成

家庭・地域、学校運営協議会との連携

- 地域と学校の課題の共通理解
- 学校だより・HPによる情報発信
- 学校運営協議会の設立と運営
- 関係機関と連携した教育相談
- 地域の教育力
- 「働き方改革」への理解と協力

